



陸自・第1師団と米陸軍による共同訓練



「オリエントシールド17」実施！！

緊迫の共同訓練に

近隣情勢の逼迫を実感！

第1師団は、先日の9月8日から25日に亘って米軍との実動訓練「オリエントシールド（東洋の盾）17」を実施し、報道機関にその一部を公開してくれました。

同訓練は、13年から隔年で行われ今回が3回目、日米双方が一線部隊を投入して臨む、大掛かりな実動訓練の一つだそうです。

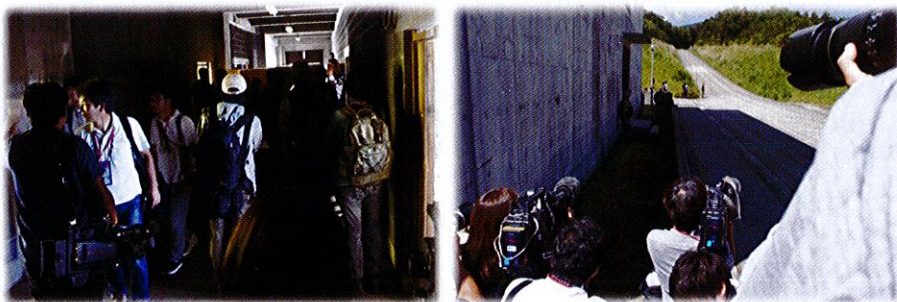
今回は、恐らく師団広報の計らいなのでしょう。当方にも取材通知を頂きましたので、取るものも取敢えず行ってきましたが、報道とは言え、「みりば」は首都圏中心の自衛隊オピニオン誌です。

主に、創立記念行事等の一般開放や公開イベントを取り上げ、自衛隊の「道徳心」・「奉仕精神」といった「心身練成」にも多くの人が関心を持って頂き、少しでも入隊希望に繋がればとの願いをモットーに活動しており、実戦を想定した実動訓練は無論初めての体験です。その上、ブリーフィングの時点で密着取材と聞かされ、何時に無く緊張のしどろしどろでした。

ところで、先日北海道上空に向かって、北がミサイルを発射した折に出された、「破壊措置命令」は現在も発令されたままである事をご存じでしょうか・・・？

この処自衛隊の皆さんは、かつてない多忙を強いられています。

通常訓練の他、年中行事や地域交流・防災訓練、そして、恒常化する災害派遣に加え、こうした米軍及び他国間との共同訓練も、本来任務に備えるべく頻繁に行っています。特にこの数年、中国の南・東シナ海における国際法無視の実行支配や挑発行為、北の核実験や度重なるミサイル発射等、日本を取り巻く「安全保障環境の逼迫化」を機に、その頻度は著しく増して来ています。また、その様子は、TVや新聞各紙もニュースと



◇写真は、市街地戦闘訓練施設の内部（左）と外部（右）です。初めての経験でしたが、まさか報道陣に、ここまで異例の密着取材をさせてくれるとは、予想外の収穫でした。